



大原草紙



第 62 号
平成 30 年 1 月
新春号

謹んで新年のお慶びを

申し上げます

NPO 法人京都大原里づくり協会
理事長 榎並博一

平素は当協会の各種取組にご理解と御協力を頂き有難く御礼申し上げます。新年に際しまして、私たち京都大原里づくり協会が今年取組む活動のポイントを申し上げます。皆さまのご理解と活動へのご参加を戴きますようお願い申し上げます。

新たな伝統行事創設に向けて

一昨年10月、120年ぶりに惟喬親王の御遠忌法要を執り行いました。「法要」「講演会」「各地の特産物販売」で全国各地から330余人の親王ゆかりの地の皆さま方のご参加を得て盛会裏に開催できました。前夜祭・法要・講演会・物産展・昼食会場・駐車場等大原には人の集う場所や各種条件が揃っていてもさほどの苦勞なく実行できる事を改めて認識しました。特に中心の「法要」には三千院門跡の存在が大きいです。昨年10月10日には、定例開催をめざし継続可能な方向を見出しました。今後皆さまのご意見を聞きながら、工夫を重ね秋の大原の伝統行事に育てたい。明治14年以来「復活御遠忌法要」を是非根づかせたいと思います。皆さまのご賛同とご協力をお願いいたします。

大原の「持佛・史跡・発見・発掘行動

大原は今、かつてなかったほど著しい人口移動期であると受けとめ、この大原の歴史や伝統を知り後世に伝える行動を始めたいと思います。次の各種事項について皆さまの御協力と、ご参加をお願いいたします。

1、大原地域史跡調査

「各町の史実・伝説・伝統の行事・伝統の佛事・神事・地名等の調査」等お尋ねします。

2、調査結果の検討評価

調査活動の進行に合わせ、専門家の助言を得ながら各町の皆さんと共に検討・評価の機会を設定し、記録資料作り、公開・展示などを進めます。皆さまのご協力をお願いいたします。

謹賀新年

京都大原
里づくり協会



- 顧問 土井 孝雄
- 顧問 和田野光彦
- 理事長 榎並 博一
- 副理事長 上田 壽一
- 常務理事 阪後 武史
- 常務理事 高倉 哲法
- 理事 久保 満
- 理事 多紀 頼忍
- 理事 藤井 宏全
- 監事 久保 勝
- 監事 西田 誠
- サポーター 瀧澤 和宏
- サポーター 竹腰 幸司
- サポーター 安倍百合子
- サポーター 安田 真

行く年・来る年!!

十二月三十一日

一月一日

除夜の鐘

初詣

江文神社

浄蓮華院

(来迎院町)

勝林院

(勝林院町)

理事の皆さん!! 今年の抱負



理事長
榎並 博一

人のため5割、探し物5割。これが近年の1日の過ごし方です。今年はそのため4割、自分のことに3割、探し物3割におき、探し物改革を進めてさらに探し物に割く時間は目標2割としたいものです。



副理事長
上田 壽一

新年の抱負を大いに語りたところですが、此のところ体調不調で先ず体調の回復を最優先にしたいと思います。歴史資料館での大原展、造形大学春秋座での八朔公演等協力有難うございました。これからもお手伝い出来ることはさせていただきますので、よろしくお願いいたします。



常務理事
阪後 武史

本年は十二支十一番目の戌年、「犬も歩けば棒に当る」のことわざ通り、積極的な行動は成果ありと思われま。地域の発展は行動力とタイムリーな情報発信が求められます。大原地域の発展のため引き続き皆さまのご協力ご支援をお願い致します。



常務理事
高倉 哲法

少子化対策として始まった学校の充実、子育て支援施設の充実、住民受け入れの住宅の供給(空き家対策と地区計画の利用)それぞれが少しずつ大原で実現出来てきた中、京都大原学院の生徒数は、一貫校になつてからも徐々にへってきていました。活気ある地域には絶対に欠かせない、元気な若者や子供達。小中一貫校としての京都大原学院は9年間を通して行動力、コミュニケーション能力、人間力の高い子供を育てるべく奮闘していただいています。そこに子育て支援施設、「ぴーちくぱーちく」小規模保育施設「小野山わらんべ」大原地域まなび学童教室」が有り地域、学校が一体となつて自然豊かな大原で0歳から15歳までの子育ての取り組みが行われるようになりました。その甲斐あつて大原で子育てがしたいとの希望者は、ネットを通じて100組以上の方から希望登録いただいています。住めるところがない現実でなかなか大原に住んでいただけていなというのが現状ですが、徐々に移住者も増え、来年から4、5年程度は京都大原学院の新生一年生は10人前後をキープ出来る見とおしです。地区計画を利用して戸寺町では1軒家建てられ、子育て世代の家族が越してきました。来年には戸寺町でもう2軒建てられる予定です。少しずつですが明るい材料が増えてきた大原、これからも皆様のお力でより良い大原を目指しましょう。



理事
久保 満

あけましておめでとございます。大原の里を囲む山々のハイキングコースの整備を担当しています。昨秋の台風二十一号による倒木で歩行困難の箇所があり、今年は忙しくなりそうです。《去る10月23日真夜中。消防団員として台風の警戒に出動、R367の倒木の除去にチエン・ソーを駆使して生活道路、沿道地域の生命線を確保してくれました》。



理事
多紀 頼忍

新年あけましておめでとございます。本年は昨年より検討されております大原各町に於いて古くより残されており古佛や古文書の再検討がされ、理解がより深くなるように思います。

慈覚大師所伝の天台声明が今日に到りやと一般の人にも理解され来迎院・勝林院町を流れる呂川、律川の訳も「ろれつ」が廻る、廻らないとの邦楽の源点である事が常識となりました。声明が一般の方々により良い形で広まる様努力するつもりです。



理事
藤井 宏全

新年におめでとございます。大原の豊かな自然、風光明媚極まるこの地に、私たちは住んでいる事は

きな幸福と誇りです。世界中数多くの人々の憧れの地です。又、歴史文化を紐解けば真に宝の山でもありません。私たちはこの地で豊かな実りある生活を営なまづして何の意味があるのでしょうか？里づくりの目標は、そこにこそあるのではないのでしょうか？本年は、より一層の前進をめざし昨年造形大学のフェスティバルで披露された大原の伝統芸能、あるいは惟喬親王忌法要等を通じて、行事に関する輪を広めていけたら良いものが芽生えていくのではないかと期待しています。手近なところから行動を起こし、大原に住む私たち自身が、何よりも郷土愛に眼覚めて行くならば、そこから大原の諸問題も解決の糸口が開かれるのではないかと考えています。本年もよろしく、お願い申し上げます。



大原草紙編集部
西田 誠

大原の話題提供になっっているか。マンネリにならぬよう苦戦中です。皆さんの投稿、話題提供、苦言など紙面参加を期待しています。情報はまず電話でご連絡ください。電話・075-744-2916(西田)



風流

（京都の
民俗芸能）

京都造形芸術大学で「日本芸能史」と題した連続講座が今年度開講されていますが、そのひとこま「風流（京都の民俗芸能）」（10月23日）に大原から40数名が参加しました。

高野川沿いの盆踊りのビデオ上映に続いて、大原で続けられている八朔の行事の実演。最後は京都大原学院の子供ダンスサーズによるブラジリアンダンス。前日は台風でどうなることかとちよつと心配しましたが、熱意のこもったプログラムを無事に観客のみなさんにご覧いただくことができました！



大原地域 ごみ減量推進会議

— 市政貢献表彰を受賞 —

当NPO京都大原里づくり協会が担当する「大原地域ごみ減量推進会議」は、去る10月15日、京都市自治記念式典において「永年にわたりまちづくりの推進に率先して尽力した」ことにより門川京都市長より表彰を受けました。現在も活動しているごみ減量の取組み、てんぷら油の回収、エコフエスターへの参加等がありますが、引き続き積極的な活動を展開致します。（担当 阪後）

表彰状

大原地域ごみ減量推進会議様
貴会議は永年にわたりくらしと環境が調和し誰もが地域で安心して心豊かに暮らせるようおおいのあるまちづくりの推進に率先して尽力されました。これは魅力あふれる未来の大原の実現に大きく貢献するものであります。よつその御功績をたたえ京都市自治記念日に当りここに表彰します。
平成二十九年十月十五日
京都市長 門川 大作

店の数が客を呼ぶ

大原の減少する観光客対策

大原観光保勝会
会長 辻美正



数年前より減少の一途をたどる大原への日本人観光客ですが、この原因が何なのか…京都く大原・三千院…の歌は??平家物語の寂光院は??と思っても昨今の外国人ツアーでは…山紫水明の地…大原のネームバリューは、どこへ行ったのか?若い方に大原って知ってる?三千院って知ってる?聞いても全然あきまへん。大原女をおおはらおんなと読まれた時はシヨックでした。昔は、誰でも知っていた、京都く大原・三千院やつたのに…

最近、思い立って、友人と飛騨高山へ行ってきました。そこで見たものは、圧倒的な店舗の数です。なるほど高山には温泉もあります。朝市も有名です。景色は岐阜県の山の中の「小京都」ですから、町並みも綺麗です。しかし、それにも増して店舗の数の多い事・多い事…土産物屋、飲食店の多さにもびつくりですが、毎日の朝市も2ヶ所!史跡の数や、景色のきれいさは、大原もひけをとらないとは思いますが店を覗く、入ってみる、試食する…この人数の多い事・多い事…史跡や名所は軽く流して、有名な店、有名な食べ物の探索です。よくよく考えたら、自分も同じ行動をしていました。

要するに高山市は、町をあげて店だらけにして観光客を呼び込むと言う人間の心理に根ざした方針を実践している町です。と言っても難しい物を売ってる訳では無く、

難しい物も買ってません。食べたものは、昼飯は、やっぱりうどんやでした。

普通が良いんです。取り立てて変わった物はやっぱり買いません。結論を申しますと、大原には店舗数が少なすぎます。大原へ行ったら〇〇を買って、〇〇のご飯を食べようとしても、この多様化したニーズの中で、観光客の方は選択の余地が無い。同じ洛北の貴船では同じ業態の料理屋さんばかりが軒を連ねて同業者だらけの貴船で、それぞれの店が創意工夫をして繁盛しています。もちろん、貴船神社も「株式会社?貴船神社」と揶揄されるぐらい、積極的にイベントや「水うらない」等も仕掛けて来られますがそれにも増して同業の料理屋さんが多い事には驚かされます。

少ない客の取り合いと考えるより、店の数が少ないから、お客様が少ない。マイナス思考で考えるより、「自分の店の固定客を増やす」為にどうするか?大原の朝市も、元の製材所から朝市に変わり、定着し多方面からぞくぞくと来られるようになる。「里の駅」が出来朝市も2ヶ所に増え今やどちらもが繁盛する状態です。おかげで「大原野菜」と言うブランドが確立しました。しかし、観光客は…と言うと、反比例するように減少の一途です。「空き店舗」が目立つようになり、飲食店も減り、このままで行くと「シャッター商店街」の

様相です。オーナーの高齢化等の問題もあります。シャッター商店街には人も近寄りません。いくら有名な観光地と言えどもそれに代わって、店舗を貸すとか、借りるとかの動きもありません。同じ大原でありながら「農産物を買う」と言う目的の方は来られるけども観光地にある観光業態の店には来られていない!!「なんか食べる処…ないの?」と言う話もよく聞かれます。が、ぎょうさん有るんですよとも言えず…けど最近はお力フエと言う業態でパラパラ増えましたが、まだまだパラパラで、もともと増えてほしい。大原の野菜を使った「農家レストラン」のような店があっても良いような…大原の野菜だけでは無く、工芸品でも、食品でも、そこで作った〇〇でも豆腐でも、こんにやくでも、木炭でも、昭和の時代にあった天ぷら屋でもコロッケ屋でもぎょうざ屋でも…思いつくのは食べ物ばかりですが誰か、大原で一旗揚げたるか…と言う人居ませんか? 応援しまっせ。

こんな文章を書いたからと言って、大原が店だらけになるとも思いませんがせめて、今、空いている店舗だけでも、埋まらないものかと考えています。来てもらえるお客さんが来ん事には、大原の発展も人口増も無いからです。

私の
大原のベスト・
ポジション
新シリーズ第1回

中川修一さん
(勝林院町)



「大原の一番」貴重な。印象的な。体験から。或いは思わぬ事から。大原一番の場所は人それぞれ。皆さんご応募ください。

第1回は勝林院町中川修一さん。大原の花鳥風月についてこの人の右に出る人は居ないだろう。大原をカメラに収め始めて50年余り。写真コンテスト各賞を多数受け、今も四季折々の画像の提供をマスコミから求められています。「カワセミ、ヤマセミ」の棲み分ける境界、大原の希少草花の生育場所まで豊富な知識。敬意を込めてお尋ねしました。

次の写真を示された。場所は来迎院町「ツクダ」の農地から草生、野村町を望むところ。毎夜翌日の気象状況を聞き準備される。



大原の明治・大正・
昭和の写真アルバム

写真を提供
して下さい



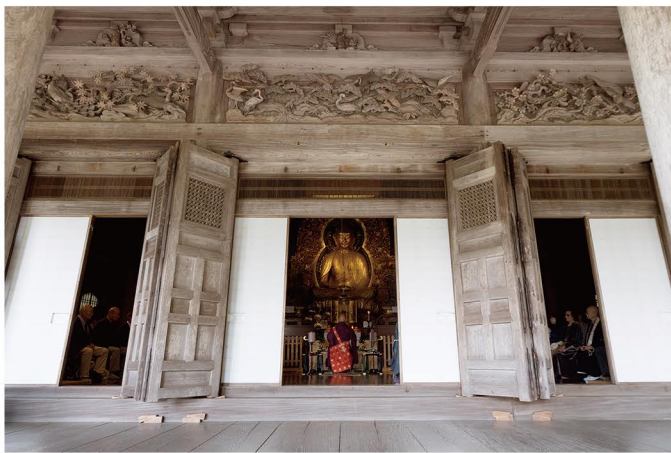
皆さんのお宅で「眠っている」「処置に困っている」「捨てるに忍びない」などなど、古い写真を、お貸し戴くか、ご寄付ください。記念アルバムや、資料として保存いたします。プライバシー、その他ご意向を大切に致します。ご連絡は西田まで(電話 075-764-2916)



昭和55年勝林院町はなまつり実行委員会



法要出仕 魚山一山



法要の勝林院堂内



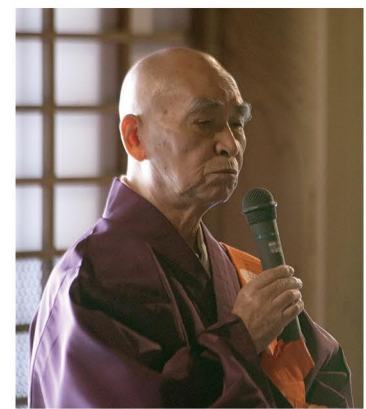
講演会「鞍馬二ノ瀬町における惟喬親王」



写真撮影 / 中野 貴広

明治14年に開催された親王千年忌法要にちなみ、一昨年10月10日「復活大法要」を全国各地の惟喬親王ゆかりの地の皆さまにご案内し、330名余の参列を得て盛会に執り行いました。昨年10月10日、法要の規模を縮小しつつも三千院堀澤門主のご導師のもとで「復活・第二回御遠忌法要」を80余名のご出席のもとで執り行われました。法要の様子をアルバム風にしました。開催団体の関係者は、毎年10月10日大原の恒例行事に育てたいと意気込んでいます。

平成29年 惟喬親王
鑽仰御遠忌法要から



法要導師
三千院
堀澤門主
ご挨拶



主催者
山田寛二
会長挨拶



二ノ瀬町今江 與様

いま京都 大原学院で

編集部 西田 誠

少子高齢化社会の激しい波はここ大原も例外ではない。小中一貫校となつて九年を迎えたが生徒数は減少の傾向にある。地域住民として地域の学校が生き生きと活動してほしいと期待する。



第14回大原提言 発表会から



11月20日、京都大原学院9年生による「大原提言発表会」が紅葉に染まる三千院の円融坊を会場に行われた。発表会は今年で回を重ねて第14回。私は今回初傍聴。教室から円融坊に場所を移して約100名余りの聴衆に提案するのは9年生14名。緊張感が伝わってきます。

ユース・エンタプライズ トレードフェアで入賞



12月10日(日) 京都大学にて開催された、新しい事業の創造を通じて課題解決に取り組む小学生〜大学生の若者達の活動発表会「第17回ユース・エンタプライズトレードフェア」に5年生が参加しました。5年生は4月から一丸となつて

ビックリ提言内容

大原地域の未来に向けた提案は、現状を分析し、アンケートでニーズの調査をするという方法、パワー・ポイントも判りやすい、聞き手に説得力のあるもの。私にとって長く取り組んできたものが多く、ほぼ同じ認識のテーマがあつて納得の一時でしたがその中で、空白の領域といえる「大原の絵本を作ろう」は完成本を読みたいと思います。そんなことを考えながらの帰路、三千院内で働く人に感想を話すと「そうでしょう、大原校の先生方は私の校区の先生とは違うところがわかりますよ」と熱心な先生方の姿を見ておられて又、ビックリ。

和菓子「赤しそあんの花もちー」を企画開発。自分たちで育てた赤紫蘇とお米を使って製造したお菓子250個を完売することができました。パワーポイントを使ってのプレゼンテーションもわかりやすく堂々としていて、見事「ベストシヨップ賞」を受賞しました！



新人戦 個人戦で奮闘 ソフトテニス部



7・8年生の秋の公式戦ソフトテニスの部で、京都大原学院の個人戦。ペアは男女とも熱戦を展開。8年生男子ペアはブロック大会から全市大会に進みベスト8に。7年生女子ペアもブロック大会1位、全市大会2回戦まで進みました。特筆は7年生男子個人戦岸下、田中ペアブロック・全市大会ともに優勝。12月9日の府下大会に進出し第3位の好成績をおさめました。

大原留学生助成金制度 京都大原里づくり協会

国際化の中、観光客も海外からの方々が急増しております。又、京都大原学院では低学年から英語教育が行われていきます。そこで、京都大原里づくり協会では将来を担う大原の若者たちがより視野を広げ、高い志をもってチャレンジして欲しいと願って、「留学生助成金制度」を次のような要領で作りましたのでお知らせ致します。

- 1、奨学生助成金の原資は当面、当協会からの年間五万円。又、広く皆さまのご協力を要請して基金を作るよう努めます。
 - 2、対象は京都大原学院生又は、卒業生。長期留学を優先し、年齢は三〇歳までとします。
 - 3、当面は年間一名のみで五万円。毎年三月に締切、四月の理事会で決定します。
 - 4、助成を受けたものの義務として、帰国後、レポートの提出を求めます。
 - 5、基金が出来れば増額等を検討します。
- 二、本制度の趣旨をご理解の上、皆さまに基金への拠出を戴くようご協力をお願いいたします。
- 三、留学生助成金申込について詳細は当協会理事にお尋ね下さい。



れんさいマンガ
★61★
アズマツネオ



迎春

切り絵制作
望月めぐみ



勝林院焼失後日記別記(五)

上田 壽一

御朱印焼失

口上書ノ留メ

是ハ外ニク、リツケ置

別紙有リ、

口上覚

一、御朱印之儀ハ如何様ニ仕置

候哉寺御尋被成候、此義ハ貧寺

之義故、前々から本堂之脇ニ

御朱印所与名付、押入を仕り

其前ニ式重ニ錠をおろし、錠ハ

役者理覚院方ニ預リ罷在り候、

出火寺申ニ付早速理覚院、錠

を持参仕り、私共茂出会三人ニ而

あけ懸り候へ共、最早棟

落掛り候ニ付、是是非焼失仕、

申訳も無御座奉恐存候、

一、本堂證諱阿弥陀のけ可申

与被存候へ共、大仏故意人ニ而難叶

御座候ニ付、御胎内之小佛取出

申候、古佛八三年巳前薄を置

なおし、いまだ御胎内へ入不申

釈迦壇之内ニ有之候故、取出シ

申候、

右之通相違無御座候、

享保廿一年辰正月六日

御奉行様

火災の時に何から取り出すのか？

次の三点が重要であつたらしい。

○本尊(胎内佛) ○御朱印：寺社

領の保証文書 ○代々位牌

本尊は取り出せず焼失、胎内佛は

外に安置してあつたので持出せた

と書かれている。胎内佛は此の文

書からすると一体であつたと思わ

れる。本堂の脇に入れてあつた御

朱印状も全て焼失。

さて次回は位牌の事が書かれてい

大原発掘調査

井手町・野村

大原の長い歴史と共に沢山の継承されてきた事が生活環境等の変化によって急速に忘れ去られようとしていきます。現実の生活に不要だからとメモ用紙同様に捨去るには惜しいものが私たちの身辺にあるはず。各町の皆さんにお尋ねして佛像、石碑、神社、寺院、史跡、地名、詩歌にまで幅広く深く史実、伝説を調査したい、少し遅いかもわからないが私たちの身辺の発掘調査をして記録に留めたいと思います。共感を頂ける皆さんの参加をお待ちしています。



■9月18日(月)

14:00～16:00

大原史実・伝説調査

調査 井出町へ

町内5名、里協6名 11名の参加者

■11月26日(日) 14:00～16:00

大原史実・伝説調査 野村町へ

町内4名、里協4名 8名の参加者

皆さんで参加ください!!

今後の予定

■2018年1月14日(日)

14:00～16:00 草生町公民館

■3月・5月(詳細未定)